

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名		科学技術・イノベーション活動に係る国際活動			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局		作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし		担当課室	参事官(国際担当)		有賀 理	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022 (令和4年6月3日閣議決定) 科学技術外交の強化に向けて (平成20年5月19日総合科学技術会議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	諸外国の科学技術関係閣僚や有識者との交流、国際会議の開催や出席、最先端の研究開発事例の視察等を通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析することにより、各国と連携した我が国の科学技術・イノベーション政策の立案に資するとともに、地球規模の課題解決に向けた取組等の国際貢献を目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・科学技術政策担当大臣と諸外国の閣僚との政策協議、総合科学技術・イノベーション会議有識者議員と諸外国の科学技術関連専門家との政策対話等を行う。 ・我が国での国際会議の開催、諸外国で開催される会議への参加、最先端の研究開発事例の調査等を行う。 ・これらを通じ、諸外国の科学技術・イノベーション政策に関する最新情報を収集・分析するとともに、我が国の情報を諸外国に向けて発信する。								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
		当初予算		24.8	24.8	24.8	24.8	26.6	
		補正予算		-	-	-	-		
		前年度から繰越し		-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し		-	-	-	-		
		予備費等		-	-	-	-		
	計		24.8	24.8	24.8	24.8	26.6		
	執行額		46.8	3	4.1				
	執行率(%)		189%	12%	17%				
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)		189%	12%	17%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		18.8	18.8	例年実施している国際科学技術関係大臣会合を、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、オンラインと対面のハイブリッドで開催する為。				
	委員等旅費		4	4					
	庁費		2	3.8					
	諸謝金		0	-					
	計		24.8	26.6					
活動内容 (アクティビ ティ)		国際交流や我が国の国際貢献を推進するため、科学技術政策担当大臣と諸外国の閣僚との政策協議、総合科学技術・イノベーション会議有識者議員と諸外国の科学技術関連専門家との政策対話等を行う。							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	大臣級国際会議や閣僚級対話の実施	大臣級国際会議及び閣僚級対話の回数	活動実績	回	5	4	6	-	-
			当初見込み	回	4	4	4	4	4
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	大臣級国際会議及び閣僚級対話の経費(執行額)/回数			単位当たり コスト	百万円	6	0.5	0.6	6
			計算式	経費/回	31百万円/5回	2百万円/4回	3.8百万円/6回	24百万円/4回	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	国際交流や我が国の国際貢献を推進するため、閣僚級会合、国際機関等における会合への出席及び各国の関係閣僚等関係者との懇談の機会を維持することにより、日本及び諸外国間の共通課題の認識に基づく科学技術・イノベーション施策の充実を成果目標とする。	科学技術担当大臣又は総合科学技術・イノベーション会議有識者議員等と諸外国の閣僚や有識者との意見交換等の件数	成果実績	件	14	15	22	-	-
			目標値	件	10	10	10	-	10
			達成度	%	140	150	220	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		当該年度に実施した科学技術担当大臣または総合科学技術・イノベーション会議有識者議員等と諸外国の閣僚や有識者との意見交換等の実績							
政策 評価、 新経済	政策 評価	政策							
		施策		政策評価書 URL	-		該当箇所	-	

係 ・ 財 政 再 生 計 画 と の 関 連	新 経 済 ・ 財 政 再 生 計 画 改 革 工 程 表 2 0 2 1	取 組 事 項	分野:	-	-
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-
			該当箇所	-	-
事業所管部局による点検・改善					
		項 目	評 価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	科学技術は我が国の豊かさや人々の安全なくらしの実現に不可欠であり、事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。今後とも国民や社会のニーズを的確に反映するよう努める。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-		
事 業 の 効 率 性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	海外も含め科学技術動向の調査は、国家戦略の根幹に位置づけられている政策を適切に推進するうえで不可欠であり、また情報の発信は、我が国の政策に関する国内外の理解増進に繋がることから、国が国費をもって優先的に実施すべき事業である。	
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。		○ 無 無	複数の業者から見積書を徴取した上で選定するなどし、競争性を確保して選定している。	
事 業 の 有 効 性	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、海外出張を中止するとともに国際会議の多くをオンラインでの代替開催とせざるを得なかったことによる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	国際会議に出席等する際には、事前の情報収集等を綿密に行うことで事業に必要なものだけをあらかじめ選定することにより、最大限の効果が得られるよう、真に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、海外出張を中止するとともに国際会議の多くをオンラインでの代替開催とせざるを得なかったことによる。	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	出張時の割引航空運賃の活用や出張者数および職務レベルの見直し等により、旅費に係る経費節減に努めている。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	オンラインも活用して、科学技術政策担当大臣と諸外国閣僚との会合および総合科学技術・イノベーション会議議員による諸外国との科学技術政策対話を推進したことにより、諸外国との共通課題認識に基づく科学技術・イノベーション施策の充実を図ることができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	オンライン会議も活用し、諸外国との科学技術政策対話を推進することができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	これまでの成果は、統合イノベーション戦略の策定等に活用されるなど、科学技術政策に反映されている。今後も政策対話によって構築した諸外国とのネットワークを生かし、情報の発信・収集に努め、科学技術政策に生かす。	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	事業名			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	統合イノベーション戦略の推進等に必要国際活動を実施するため、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議については会議運営を見直し、できる限り経費を削減している。			
	改善の方向性	引き続き、これまでの会議の開催実績等を踏まえ、出席する国際会議の見直しを図るとともに、国内で実施する会議について会議運営を見直し、庁費をできる限り削減する。			

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

過去の有識者からの指摘を踏まえ、予算の適切かつ効率的な執行に努めながら事業を進めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0047			
平成24年度	0055			
平成25年度	0132			
平成26年度	0129			
平成27年度	0142			
平成28年度	0135			
平成29年度	0141			
平成30年度	0148			
令和元年度	内閣府 - 0158			
令和2年度	内閣府 0161			
令和3年度	2021 府 20 0173			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

科学技術・イノベーション推進事務局
4.1百万円

(総合科学技術・イノベーション会議運営のための国際的な情報収集活動等、国際会議の開催)

役務【随意契約(少額)】

A. 株式会社イベント・レンジャーズ
1.0百万円

(国際会議の運営支援業務)

役務【随意契約(少額)】

B. 民間企業2社
1.4百万円

(通訳業務、ネイティブチェック業務等)

C. その他(職員等)
1.7百万円

(職員等の出張旅費、有識者への謝礼金等)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社イベント・レンジャーズ			B.株式会社サイマル・インターナショナル		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	国際科学技術関係大臣会合における運営支援業務	1	雑役務費	G20研究担当大臣会合等における通訳業務	0.5
				雑役務費	G7科学技術大臣会合、国際新興技術サミットオンライン通訳業務	0.4
				雑役務費	国際科学技術関係大臣会合における通訳及びテープ起こし業務	0.3
				雑役務費	オンライン会議(電話)における通訳業務	0.1
計		1	計		1.3	
	C.株式会社霞が関トラベル					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
旅費	G20研究担当大臣会合等出張旅費	1.2				
計		1.2	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社イベント・レンジャーズ	8010401039050	国際科学技術関係大臣会合における運営支援業務	1	随意契約(少額)	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社サイマル・インターナショナル	6010001109206	通訳業務	1.3	随意契約(少額)	-	--	
2	株式会社インターグループ	8120001060882	通訳及びネイティブチェック業務	0	随意契約(少額)	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	会議出席旅費	1.2	その他	-	--	
2	個人A	-	会議出席旅費	0.1	その他	-	--	
3	個人B	-	会議出席旅費	0.1	その他	-	--	
4	個人C	-	会議出席旅費	0.1	その他	-	--	
5	個人D	-	会議出席謝金	0	その他	-	--	
6	個人E	-	会議出席謝金	0	その他	-	--	
7	個人F	-	会議出席謝金	0	その他	-	--	
8	個人G	-	会議出席謝金	0	その他	-	--	
9	麹町税務署	-	会議出席謝金に係る税	0	その他	-	--	
10	個人H	-	会議出席謝金	0	その他	-	--	